



校長室だより

第 5 3 号
令和4年3月17日(木)
大崎市立沼部小学校
校長 吉田 浩之

1年間ありがとうございました

明日(18日)は卒業式です。今回が最後の「校長室だより」となります。何とか53号まで発行することができました。「楽しみに読んでいます。」「校長先生の考えがよく分かりました。」「ファイリングしてとっています。」など保護者の皆さまからたくさん感想をいただきました。子供たちからも、自分たちが頑張ったことを「校長室だよりに載せて。」などの声もありました。すまいる園の茂和泉園長先生にも読んでもらっています。「永久保存させていただきます。」というありがたいお言葉をいただきました。自分でも50号を越すとは思ってもみませんでした。沼部小学校はそれだけ、ネタに事欠かないということになるのでしょうか。子供たちの様子をお知らせしたいという思いで発行してきました。発行してみて、発信することの大切さを知りました。

今年は、学校のホームページも開設しました。先日、東京で教員をしている私の教え子からメールをいただきました。「沼部小ホームページから、校長室だよりを見たよ。」という内容でした。「靴をそろえることは、自分でも実践したい。」とも書いてありました。

昨年度から全面実施されている、小学校学習指導要領では、「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められています。その中でも、「対話的な」という言葉に注目してみると、子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深めるという「対話的な学び」の実現が求められています。つまり、理解したことを自分の言葉で表現できる力が必要になってくるのです。子供たちには自分の言葉で、しっかり自分を表現できるようになってほしいと思っています。

最後に、マリスン・マギーという人が文を書き、ユ・テウンという人が絵を描いた「たくさんのドア」という絵本の一節を紹介します。

3月11日に6年生女子が家庭科室の食器などをきれいに洗い、整理してくれました。男子は、校舎前の側溝の泥上げをしてくれました。6年生、ありがとう。明日はいい卒業式にしよう。

一年間、コロナ禍にあって、本校の学校運営に御理解、御協力をいただきました。本当にありがとうございました。そして、読んでいただいたことに感謝いたします。

あなたの ころを ひらくのは
だれかの ことば

あなたの ころを みたすのは
だれかの やさしさ

絵本「たくさんのドア」より

